

【短報】本州および四国からヒコサンヒメジョウカイモドキを発見

ヒコサンヒメジョウカイモドキ *Hypebaeus hikosanus* Takakura, 1988 は、大分県と福岡県の県境に位置する英彦山から得られた3♂♂をもとに記載されたジョウカイモドキである。原記載以降の採集例は知られていなかった。

筆者らは本州および四国から得られた本種の標本を確認しているので以下に報告する。

[本州] 1♂, 鳥取県大山町大山寺, 7. VII. 1971, 久松定成採集, 愛媛大学ミュージアム所蔵; 1♂, 東京都西多摩郡奥多摩町日原小川谷 (標高 750 m), 18. VI. 2016, 亀澤採集, 保管; [四国] 1♂, 愛媛県

久万高原町石鎚スカイライン 5-12 km 地点 (標高 900-1,200 m), 6. VII. 2008, 栗原隆採集, 愛媛大学ミュージアム所蔵。

東京都の奥多摩町では樹林内の下草の葉上に静止していた個体が採集された。確認環境は、モミ、カヤを交えた広葉樹林である。タイプ標本と比較すると、奥多摩町産は前胸背がやや明るい赤色を呈し、触角や脚も色彩がより明るいなどの変異が認められるが、交尾器、翅端部の異形の構造は一致している。タイプシリーズを含め、成虫は6月中旬～7月下旬に得られており、初夏～夏季に出現すると考えられる。雄のみが知られ、現在まで雌は発見されていない。

九州から見ついていた本種は、今回、本州の中国地方、関東地方、四国高所から確認され、より広範囲に生息することが明らかとなった。

なお、本種は属の変更が近く予定されている。

末筆ながら、本種のタイプ標本を含め各地の標本を検査する機会をくださった蓑島悠介博士 (北九州市立自然史・歴史博物館) ならびに吉富博之博士 (愛媛大学ミュージアム)、走査型電子顕微鏡による観察に協力してくださった野村周平博士 (国立科学博物館) に深謝する。

引用文献

高倉康男, 1988. 九州産 *Hypebaeus* 属の1新種. 北九州の昆虫, 35(3): 151, pl. 16.

(亀澤 洋 350-0825 川崎市月吉町 32-17)

(浅野 真 422-8045 静岡市駿河区西島 164-1
帝装化成 (株))

(池田 大 669-1313 三田市福島 1091-2
三田市有馬富士自然学習センター)



A



B

図1. ヒコサンヒメジョウカイモドキ♂ (奥多摩町産)。A, 全形 (スケールは0.5 mm) ; B, 上翅端 (走査型電子顕微鏡による観察)。

昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針 00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他, 採集, 製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社